

沖縄の旅日記

- 所々にハイビスカスや
ブルーゲンビリアが 咲き誇る
- 青い芝生に 瀟洒なハウス
- 広い敷地の 嘉手納基地
- 突如轟音 ビックリしたら
耳をつんざく 米軍機
- 万座毛では 小雨も上がり
梅雨の晴れ間を 遊歩道
- 隆起珊瑚が 大地を造り
崖は恰も 象の鼻
- 色や形や 模様に工夫
琉球ガラスの 職人芸
- 海洋公園 あちこち覗き
大水槽には 大感動
- 中に巨大な ジンベイザメや
サメやマンタや 回遊魚
- ちよっと涼しい 琉球村へ
沖縄各地の 民家群
- 家の周りに ガジュマル林
木根のびのび タコの足
- 精糖場には 白引き用の
水牛疲れて 座り込み
- 巡る首里城 ひめゆりの塔
平和の礎(いしじ)や 資料館
- 旅は天気と 観光ルート
宿と食べ物 人の機微
- 旅の反省 総括すれば
終わり良ければ 総て良し

スペインの旅日記

- ピレネー山越え 明かりが見えて
ここはスペイン マドリード
- 市内観光 渋滞抜けて
目指すプラドの 美術館
- スペイン誇りの 三大巨匠
ゴヤにグレコにベラスケス
- オリブ島や 岩山抜けて
古都のトレドの 旧市街
- ユダヤ・イスラム・キリスト教徒
巡る歴史を 刻む街
- 大寺院には ステンドグラス
名画・彫刻・金細工
- ドン・キホーテが 血迷う舞台
ここはラ・マンチャ 風車小屋
- グラナダ入りして アルハンブラへ
イスラム栄華の 建築術
- 地中海沿い ひたすら走り
夜の渋滞 バレンシア
- シェフが大鍋 叩いて料理
ここはパエリア 発祥地
- バレンシアから 長距離移動
目指す最終 バルセロナ
- 空に向かって そびえる塔は
サグラダ・ファミリア 仰ぎ見る
- どんな思いを 描いていたか
そんなガウディ 思いやる
- グエル公園 ぐるぐる巡り
モザイクベンチに どっこいしょ

高齢者編

- よわい○○ 後期と呼ばれ
開き直って 生きる老い
- 無理に意固地を 張り切り過ぎりや
老いの冷や水 崇る歳
- 仕事たたんで 身辺整理
ガラクタだらけも 捨てられず
- 隠居望んで 生前退位
のんびりしちゃえば ポケがくる
- 余計な話は 白ばつくれ
ポケの振りやら 生返事
- 孫や倅の 声かと受けりや
詐欺の電話の 鴨になる
- 洒落た積りで 化粧にしても
身から出た錆 加齢臭
- 若い積りが 診察受けりや
軽く言われる 加齢です
- 色気消えても 食い気はあるが
入れ歯外れて 歯が立たず
- 美人横目に ドキドキしたが
近頃よく出る 不整脈
- 二三病なら 誰でもあるが
気になる血圧 血糖値
- 体調不良で 内科や外科に
部品不良と 医者の方
- 家に籠れば 足腰萎えて
やる気失くせば 寝たつきり
- 歳はとつても 女性は大元氣
豹柄着込んで 食べ歩き

北海道編

- 利尻屋みのや(昆布屋)の先代社長・
養谷修氏と交わしたどいつ瓦版
- 北海道には 観光小樽
昆布の利尻屋 みのや有り
- 小樽名物 みのやの昆布
今度来た時 またみのや
- 海をつまみは みのやの昆布
とろろホラ吹き 塩昆布
- 試食したなら 昆布のとりこ
買わず帰れぬ 昆布館
- 何んで美人に なったと聞かれ
昆布食べたと 打ち明ける
- 昆布食べたなら 美人になった
そんな噂の 小樽旅
- 昆布食べれば もりもり元氣
こぶし握れば 力こぶ
- 昆布食べたなら 演歌にこぶし
効いてみんなが 聞きほれる
- 錆びた頭も 昆布を食べりや
磨きかかって 光り出す
- 惚れたはれたの 男女の仲も
昆布結びの 祝いもの
- 七日七晩 昆布を食べて
明けて美人を 競う朝
- 朝は昆布茶 昼ホラ昆布
夜はトロロで 出る元氣
- 昆布食べたなら ニコニコ元氣
夫婦円満 福を鼓舞